

第108回全国高校野球選手権愛媛大会第11日は22日、坊っちゃんスタジアムで準々決勝2試合を行った。松山学院は第3シード・西条を4-1で、小松は済美を3-0でそれぞれ下し、4強が出そろった。松山学院は犠打を絡めた攻

第108回全国高校野球選手権愛媛大会第11日は22日、坊っちゃんスタジアムで準々決勝2試合を行った。松山学院は第3シード・西条を4-1で、小松は済美を3-0でそれぞれ下し、4強が出そろった。松山学院は犠打を絡めた攻

第108回全国高校野球選手権愛媛大会第11日は22日、坊っちゃんスタジアムで準々決勝2試合を行った。松山学院は第3シード・西条を4-1で、小松は済美を3-0でそれぞれ下し、4強が出そろった。松山学院は犠打を絡めた攻

第108回 全国高校野球選手権 愛媛大会

第11日

撃が機能しリードを保った。小松は無失策でリズムをつくり投手戦を制した。

23日は休養日。大会第12日は24日、坊っちゃんスタジアムで準決勝2試合を実施する。

▽準々決勝
松山学院 4-1 西条
小松 3-0 済美

松山学院 攻めて着々 シード西条 最後の一矢

4強
決定



【準々決勝】
松山学院 4-1 西条
小松 3-0 済美

【西条】先手を取った松山学院が、三回、二塁で犠打を絡めた攻めが機能し、リードを保った。小松は無失策でリズムをつくり投手戦を制した。

【西条】先手を取った松山学院が、三回、二塁で犠打を絡めた攻めが機能し、リードを保った。小松は無失策でリズムをつくり投手戦を制した。

光る犠打 強気に冷静に

【西条】松山学院「3回表松山学院1死、三塁。二塁で犠打を絡めた攻めが機能し、リードを保った。小松は無失策でリズムをつくり投手戦を制した。」

【西条】松山学院「3回表松山学院1死、三塁。二塁で犠打を絡めた攻めが機能し、リードを保った。小松は無失策でリズムをつくり投手戦を制した。」

左腕に苦戦 強打空回り 西条

最後に粘った第3シードの西条だったが、持ち前の攻撃が空回りし涙をのんだ。過去2戦はともに2桁安打でコールド勝ちした打線は相手左腕の攻勢に苦しんだ。西条先発の3年文野が丁寧な投球で対抗したが、三回に相手打線の粘りに押され2失点で降板。2番手の2年永井もかわしきれず差は徐々に開いた。川又主将が「下を向いちゃダメだ」と仲間言い続け、反撃

機を狙ったが、なかなか得点圏に進めない。0-4の九回裏、先頭の竹内が出塁。川又が安打で続いてようやく得点機をつくった。1点を返したが、たたみかけられなかった。2年連続の準々決勝敗退。2009年夏以来の甲子園出場を目指した戦いは幕を閉じた。川又主将は「この悔しさを永井たち後輩が生かしてほしい」と思いを託した。(宇和上翼)

【西条—松山学院】9回裏西条一塁、川又がレフト方向の安打を放ち、意地を見せる—坊っちゃんスタジアム(撮影・和田亮)